

ユキムシ(雪虫)

雪虫とは、2～3月ころ、雪の上に姿を見せる体長1センチほどの黒色の昆虫です。只見地方では、雪虫が出るようになると、春が近いと言われます。雪虫のことを、一般にセツケイカワゲラと言っていますが、現在セツケイカワゲラはユキクロカワゲラ(クロカワゲラ科)という和名に変更されています。雪虫は、クロカワゲラ科、シタカワゲラ科、ホソカワゲラ科の昆虫類を総称している名前ということになります。雪虫には、翅のある種類と翅のない種類の2つのタイプがありますので、よく観察してみてください。俳句では、雪虫として春の季語として使われています。



ユキクロカワゲラ(クロカワゲラ科)
— 今井初太郎氏(水戸市) 撮影 —

イベント

【特別展示】

- 森と生き物を描く ～平田美紗子イラスト展～
国有林を管理する森林官であり、一方では、雑誌「林業技術」に連載をもつイラストレーターとして活躍する平田美紗子さんの作品35点を展示しています。
期 間: 3月25日(日)まで

【第15回ブナセンター講座】

- ユネスコ・エコパーク(生物圏保存地域)とは何か?
講 師: 酒井暁子さん(横浜国立大学大学院環境情報研究院准教授)
と き: 3月17日(土)午後3時～午後4時30分
と ころ: ただみ・ブナと川のミュージアム セミナー室

※この広報紙は再生紙を使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

豪雨災害による支援

多くの皆様から、お見舞いなどのご支援をいただいております。
誠にありがとうございます。いただきました支援金については、
災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

支 援 金 6,238,934円 (51件)
3月5日現在